とみや議会だより

第41号



▲熊野神社

令和７年度 決算審査 ……P４
令和８年度 補正予算 ……P５
一般質問 ……P８
委員会活動 ……P15

2026年（令和８年）11月１日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編　　集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい議会だよりを目指して～

UD FONT by MORISAWA ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

富谷市議会政治倫理審査会
審査結果報告（概要）

令和８年８月10日、議員15名の連署をもって、富谷市議会議員政治倫理条例（以下、「条例」という。）第８条の規定に基づき、審査請求書が議長に提出されました。このことにより、富谷市議会政治倫理審査会を設置し、３回にわたり当該事案についての審査が行われ、10月８日に審査会委員長より審査結果報告書が提出されました。

1 審査請求の対象となった議員

長谷川　る美　議員



2 審査結果

条例第５条（１）の政治倫理基準に一部抵触していると判断する。

条例第17条の規定に基づき、審査請求の対象となった議員に対し、同条（３）の措置として、「文書による注意」及び「情報発信を含め、市民に疑念を持たれないための自身の今後の対応について、文書による説明を求める」とするのが相当であると思われる。

3 審査会設置の経緯

令和８年３月４日、議長及び副議長連名による「厳重注意」が当該議員に発せられた。本市議会では以前から「厳重注意」が発せられた際は慣例により「とみや議会だより」に掲載されてきた。当該議員は、慣例があるにも関わらず、編集作業中に記事掲載について異議を唱え始め、発行責任者である議長あてに「議会だより掲載に関する異議申し立て」を行ったものの、議長からの回答に納得せず、掲載の阻止に奔走する行為が繰り返し行われた。

このことに端を発し、議員間よりその他の行為についても条例に抵触する疑いが持たれるようになり、議員全員協議会の協議を経て、当該議員を除く議員全員賛同のもと、政治倫理審査請求を行うことに値するものと判断された。

この結果を受け、令和８年８月10日、本市議会議員15名の連署をもって条例第５条（１）及び（６）に抵触していると思われることから、条例第８条に規定する審査請求書が議長あて提出され、審査会が設置された。

審査結果報告書の全文は、市公式ホームページに掲載しています。

https://www.tomiya-city.miyagi.jp/information/2026/10/c74c643e6783f52cc8f3a0f526be0b802e3e271f.html

富谷市議会議員政治倫理条例とは

「富谷市議会議員政治倫理条例」の概要についてご紹介いたします。
令和元年６月に議員発議により制定され、運用されている条例の一つになります。

- **議員の権力を私的利益のために使わせない**
- **特定の人を特別扱いさせない**
- **市民からチェックできるようにする**

ための条例

〈 目 的 〉

この条例は、富谷市議会議員（以下「議員」という。）が市政に関して市民の厳粛な信託を受けていることを認識し、市民全体の代表者として人格及び倫理の向上に努め、自己の地位による影響力を不正に行使して自己の利益を図ることのないよう必要な措置を定めることにより、市政に対する市民の信頼に応え、公正で開かれた市政の発展に寄与することを目的とする。

議員の責務

市民のために責任を持って活動し、常に自分を磨き、品位を保ち、市民から求められなくても積極的に情報発信（情報発信を市民から依頼されたときだけ行うのではなく、議員自身が主体的に行うこと）を行う。

議員が守る主なルール

1　議員の立場を利用して不正をしない

議員としての品位を損なう行為や、市民から「何か不正をしているのではないか」と疑われるような行為を慎む。

2　特定の人・企業だけを優遇しない

市の許認可や契約などについて、特定の個人、特定の企業、特定の団体のために、有利な取り計らいは慎む。
つまり、「議員だから、この人・この会社を特別扱いしてほしい」という働きかけをしてはいけない。

3　市職員の人事に介入しない

市職員の採用、昇任、異動に議員が関与することは禁止されています。
さらに、市職員の公正な仕事を妨げたり、議員の影響力を使って不正に働きかけたりすることも禁止されています。

4　根拠のある情報を発信する

議員の発言及び情報発信は、確かな事実に基づいて行うことが求められます。
これは議会での発言だけでなく、議員による市民への情報発信を考えるうえでも重要な規定です。

◆「この議員は条例に違反しているのでは？」と思ったら

この条例の大きな特徴は、市民から審査を求めることができることです。
市民が政治倫理基準に違反していると考える場合、証拠となる資料を添えて、議長に審査を請求できます。ただし、誰でも１人で請求できるわけではなく、富谷市の有権者総数の25分の１以上の署名が必要になります。

◆審査はどう行われる？

審査請求があると、議長は「富谷市議会議員政治倫理審査会」を設置します。（議決や決議は不要）
審査会は、学識経験者、市民、議員などから構成され、審査請求が適切か、そして議員が政治倫理基準に違反しているかを審査します。

◆違反したら「議員を辞めさせられる」の？

議員を解職させる制度ではありませんが、条例では、議長は、審査会の審査結果を尊重し、政治倫理基準に違反し、政治的・道義的に重大な責任があると認められた場合は、議員辞職の勧告、議会への出席自粛の勧告等の措置を講ずることができると定められています。

～～市民の皆様へ～～

今期、二度目となる政治倫理審査会の設置に至ったことは、議会として重く受け止めております。
このたびの件を通じ、私たち議員は、市民の負託に応えることの原点に立ち返り、市民全体の代表者として、人格および倫理の向上に努めることが責務であると改めて深く認識したところであります。
富谷市議会は、市民の皆さまから信頼される議会を目指し、議員の倫理意識の向上と時代に即応した改革を議会自ら進めてまいります。

富谷市議会議長　畑　山　和　晴

令和７年度 決算審査および監査意見
こんな質疑がありました

令和7年度の一般会計・特別会計・公営企業会計について、決算審査特別委員会を9月17日と18日に設置し、慎重に審議しました。監査委員の意見および審査中に行われた質疑応答は次の通りです。

同委員会による審議の結果、一般会計・特別会計・公営企業会計において、全会一致で賛成となり、原案の通り認定され、最終日の本議会において可決認定されました。

監査委員の意見

令和７年度の一般会計・特別会計歳入歳出決算は概ね適正と認める。

事業推進については、第２次富谷市総合計画の策定、複合図書館ユートミヤの開館、総合病院公募などを高く評価する。今後も引き続き着実にまちづくりを推進されたい。

財政運営では各種財政指標が低下傾向にあるが、財政力指数は前年度と同じ０・７５を維持した。市債については地方債を適切に活用し、各種事業を着実に推進しているが、近年の物価高騰に伴う行政コストの増加、公共施設の老朽化、社会保障関係経費の増加が見込まれるので、持続可能な財政運営に一層努められたい。

さらに、基幹業務システムの標準化に伴う課税誤りや支払遅延が発生した。職員の不祥事も発生し、市役所の信頼回復が求められていることから、全職員が緊張感を持って業務に遭進されたい。

富谷市監査委員
眞山　巳千子

総務・財政

公共ライドシェア

問 昨年11月から12月の１ケ月間、しかも１週間のうち、水木金の３日間の運行で約１１００万円の経費を要しているということに関しての見解は。

答 この実証運行事業では、アプリの開発、市民のアンケート調査、運行設計のプランニング、それから対象エリアの選定等、さまざまなものが含まれておりますので、これぐらいの金額は妥当であると考えています。

市民バス運営

問 バスロケーションシステムの使用状況と、市民の皆様からのお声はどうなっていましたか。

答 バスロケーションシステムは昨年の10月から実施しており、アクセス件数が４４００件以上と、非常にいい状況となっています。利用者の皆様からも、バス待ちの状況がある程度分かるとのお声をいただいています。

教育・福祉

病院誘致

問 まちづくりの都市再生整備計画の策定には、どのくらいの期間がかかりますか。

答 令和10年度末までの策定予定です。

学習向上パワーアップ

問 事業の詳細は。

答 学び合いの学習の定着と、小学５年生以上の小中学生を対象としたＳＮＳフォーラムなどです。

給食センター

問 運営審議会では残食についてどのような意見がありましたか。

答 食べやすい献立や、栄養士による食育の授業を行い、改善していきます。

産業・建設

農作物有害鳥獣等駆除

問 ＩＣＴ機器を活用した捕獲わなの詳細は。

答 囲いわな・くくりわなを１１１基設置し、イノシシの捕獲１３９頭、ＩＣＴを活用して59頭を捕獲しています。

問 どの地区にＩＣＴが利用されていますか。

答 市内９地区の12カ所です。

労働雇用対策

問 令和７年度のシルバー人材センターへの登録者数と就業率は。

答 会員数は４３１名です。前年度より６名増で、そのうち女性会員が１１１名です。就業率は、95％の目標に対し88・４％です。

令和８年度 一般会計補正予算

令和８年度９月補正予算は、８億３５４２万円を追加し、総額２０４億１９４３万円とするものです。

歳出の主な内容としては、結婚新生活支援、道路交通安全施設整備や住宅宅地震災対策、市道維持管理や小・中学校における給食費無償化を引き続き維持するため、物価高騰に伴う賄材料費の不足分、７月25日に発生した大雨により被害を受けた農業用施設の災害復旧に係る所要額の増額などです。

ユートミヤ運営

問 ユートミヤの消耗品増額はどういった経費ですか。

答 多くの方々に来館いただき、トイレットペーパーや傘袋などが不足し補充経費です。

問 複写機使用料の増額計上の要因は。

答 多くの視察や取材を受け、その際の資料印刷に要する経費を計上しました。

問 印刷経費削減のため今後、デジタル対応を進めては。

答 今後ペーパーレスの対応を検討します。

中体連大会等派遣補助

問 教育総務費補助金２１０万円増額の内容は。

答 中総体東北大会、全国大会への派遣補助増額分です。

問 部活動地域移行団体も含まれていますか。

答 地域クラブ分は生涯学習課で予算計上しています。

学校給食運営

問 地方創成臨時交付金を物価高騰対策として教育費に充当した理由は。

答 賄い材料費が物価高騰の影響を受けていることを踏まえ、給食費へ充当しました。

問 賄い材料費は今後どのように推移していくか想定していますか。

答 今後の物価高騰を予測することは困難ですが、値下がりすることはないかと思います。

農業施設災害復旧工事

問 今回の補正予算で災害箇所すべての工事が完了しますか。

答 地元の方と現地を確認し今後も対応していきます。



▲大亀地区

●●●補正予算の主なつかいみち●●●

○学校給食センター運営・維持管理事業 3,160万円
物価高騰の影響に伴う、賄材料費が不足することから所要額を計上するもの。

○農業用施設災害復旧費 1,588万円
７月25日に発生した大雨により被害を受けた農業用施設の災害復旧に要する所要額を計上するもの。

○結婚新生活支援事業 1,050万円
新規に婚姻した世帯を対象に住居費や引越費用の助成に係る所要額を計上するもの。

○道路交通安全施設整備事業 997万円
富ケ丘小学校付近の市道について自転車及び歩行者用の安全対策工事を行うもの。

○大亀山森林公園維持管理事業 364万円
クマ対策を目的に、誘引木の伐採費用やパトロール用備品を購入するもの。

第３回定例会(9/7～9/25)　議案採決結果一覧

	議案	賛成	反対	議決結果	須藤 義	伊藤 嘉樹	畠山 由美	荒谷 敏	菊池 美穂	渡邊 清美	佐藤 浩崇	塩田 智明	菅原 福治	金子 透	浅野 直子	長谷川る美	出川 博一	青柳 信義	渡邊 俊一	村上 治	畑山 和晴	
第３回定例会	富谷市監査委員条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	市長提案
	富谷市立学校の設置に関する条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	富谷市立幼稚園授業料徴収条例の廃止について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	富谷市立幼稚園預かり保育条例の廃止について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	富谷市立幼稚園運営審議会条例の廃止について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和８年度富谷市一般会計補正予算(第２号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和８年度富谷市市営墓地特別会計補正予算(第２号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和８年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第２号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和８年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第２号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和８年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第１号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和８年度富谷市下水道事業会計補正予算(第２号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	財産の無償譲渡について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	和解及び損害賠償額の決定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	16	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和８年度富谷市一般会計補正予算(第３号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	16	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	16	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	16	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	16	0	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和７年度富谷市一般会計歳入歳出決算の認定について	16	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和７年度富谷市市営墓地特別会計歳入歳出決算の認定について	16	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和７年度富谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	16	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和７年度富谷市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	16	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和７年度富谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	16	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和７年度富谷市下水道事業会計利益処分及び決算の認定について	16	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	
	令和７年度富谷市水道事業会計利益処分及び決算の認定について	16	0	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	

○賛成　　×反対
※議長(畑山和晴)は採決に加わりません。

政務活動費の収支を報告します

○会派等別収支内訳（令和７年度）

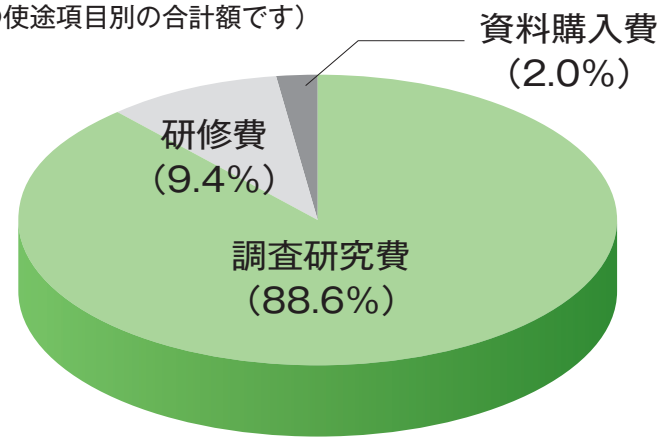
※政務活動費（一人当たり上限月額15,000円）実支出

（単位：円）

会派名(人数)		申請額	支出額	戻　入
日本共産党	1人	180,000	0	180,000
公明党	2人	360,000	349,062	10,938
新星とみや	6人	1,080,000	1,047,186	32,814
開誠会	2人	360,000	112,040	247,960
無会派議員	6人	1,080,000	705,938	374,062
計　17人		3,060,000	2,214,226	845,774

○使途別内訳

（支出額は各会派及び議員の使途項目別の合計額です）



◎ホームページでも公開しています

閲覧手順

富谷市議会　検索



富谷市議会録画配信URL

https://tomiya-city.stream.jfit.co.jp

富谷市議会インターネット　検索

次回の定例会は11月下旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。

TEL 022-358-0622

市政を問う

一般質問

第３回定例会では12人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を8ページから14ページまで発言順に掲載しています。

文章については、議員自ら作成していますので、原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

9P 菅原 福治 議員
- 「産業創出」と「地域経済の活性化」について

9P 青柳 信義 議員
- 身寄りのない高齢者等サポート事業について

10P 渡邊 俊一 議員
- 市民の安全安心のため、防犯カメラの設置・増設について

10P 畠山 由美 議員
- 熱中症対策について
- 低出生体重児と家族に対する支援の充実について

11P 須藤 義 議員
- 子どもホスピス整備の検討を
- 学校の開門時間、本市の見解は

11P 浅野 直子 議員
- 健康寿命の延伸と社会参加の推進
- 高齢者の移動支援について

12P 荒谷 敏 議員
- 市内スポーツ施設の整備推進と環境の充実について

12P 出川 博一 議員
- 新商品開発補助金のその後は
- 市民センター移行のその後は

13P 長谷川 る美 議員
- 「ブックスタート事業」の導入について

13P 菊池 美穂 議員
- 高齢者のごみ出し支援について
- ごみ屋敷対策・放置車両対策について
- 路線バスを維持するための連携強化について

14P 渡邊 清美 議員
- 災害時の避難所運営について

14P 伊藤 嘉樹 議員
- 我が市の子育て・教育について

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 データセンターの立地を求める
答 国から本市がGX戦略地域に認定



菅原　福治 議員

本市は今年、市制施行10周年を迎えます。

これまで人口増加や住環境の整備を進め、企業誘致や産業振興により、市の基盤を築きました。

富谷市総合計画に、民間事業者や大学との官民連携・産官学連携が求められている中、「とみや・つなぎ・つながれ」T3みちのく協議会（製造業部会）に取り組んでいます。

製造業部会は、次の10年に向けた成長戦略として、新たに企業を呼ぶ政策と、市内既存企業を育てる政策を車の両輪として支援する事と、成田二期北工業用地に半導体企業の誘致を持って完了とし、本市の経済活性化に繋げることです。

早急に成田二期北工業用地に電力等のインフラ整備を進め、データセンターの調査・研究、立地を進めるべきと考えます。

問 製造業部会の課題と、今年度の重点取り組みは。

答 参加企業が少ない状況です。参加促進に向けた取り組みを強化します。

問 T3みちのく協議会の具体的目標は。

答 本市をフィールドとして産官学の連携、産業振興、雇用の創出、地域活性化、定住人口等の増加を目指します。

問 データセンターは、日本においても、まだまだ必要性はあります。早急に成田二期北工業用地にAIデータセンター集積の立地を求めます。

答 9月11日、成田二期北工業用地が国からGX戦略地域として認定されました。



本制度は、電力、通信インフラ等の効率性を踏まえた、データセンターを核とした産業クラスターを形成するものです。

今後は、県を始め関係機関と密接に連携を図り事業者の誘致に努めます。

問 成田二期北工業用地と、AIデータセンター集積制度との関連は。

答 戦略地域の認定は、製造業、関連企業等の立地の優位性を高めます。

問 身寄りのない高齢者の終活支援は
答 事業開始に向け制度設計を進める



青柳　信義 議員

政府は2026年6月、頼れる親族がいない一人暮らしの高齢者等を包括的に支える新事業を盛り込んだ、改正社会福祉法を参議院本会議で可決・成立しました。

これまで主に家族や親族が担ってきた役割を国が正式に福祉サービスとして制度化し、社会福祉協議会などが主体となって高齢者等を公的に支える仕組みが整えられます。

高齢化が進む中、これまで家族や親族が担ってきた役割を誰が担うのかという問題が今後ますます重要になってきます。

一人暮らしの高齢者にとっては、日常生活のちょっとした困り事だけではありません。入院するとき身元保証を誰に頼めばいいのか、施設に入所するとき誰が手続きをしてくれるのか、認知機能が低下したとき誰が支払いなどを支援してくれるのか、亡くなった後や葬儀、火葬、住居の片付け、公共料金の解約など誰が行うのか、介護サービスだけでは解決できない問題があります。

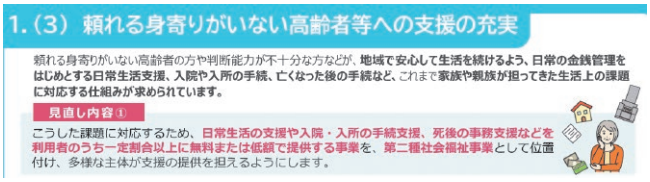
国もこうした課題を個人や家族だけの問題とせずに、社会福祉の仕組みの中で支える方向へ大きく動き始めています。

問 本市の一人暮らし高齢者の数は。

答 65歳以上の一人暮らし高齢者の方は今年7月末時点で1,244人です。

問 社会福祉協議会との連携による日常支援から入退院、終末期、死後事務までを切れ目なく支援する、包括的なお一人様の支援の仕組み、富谷市独自の支援体制の構築について検討する時期と考えますが見解は。

答 親族がいない方々を地域で、行政でしっかりと責任をもっていかなければなりません。社会福祉協議会と連携し、今後しっかりと住み慣れた地域で、最後まで安心して暮らせる社会の実現に向けて取り組んでいきます。



▲厚生労働省HPより

問 防犯カメラの設置、増設について
答 新年度予算にて取り組みます



渡邊　俊一 議員

全国各地で子どもが対象の心病む事件、事故が発生しており、また、昨年よりクマの出没が多発しており、小中学校に通わせている保護者の皆さんは通学時はもとより、公園などでの遊びの時など心配が絶えません。

市の配慮によりクマ対策のため市内小中学生全員にクマ鈴を配布して頂き、保護者の方々から感謝の言葉を頂いています。子どもの多い我が市において、市の宝であります子ども達の安全、安心が最大の施策ではないかと考え、次の質問を致します。

問 現在市で設置している防犯カメラは何台か伺います。

答 市が管理する防犯カメラは106台稼働しており、ユートミヤや、市民センターなどの施設には利用者の安全のため施設管理用カメラを別途設置しています。

問 防犯カメラ1台当たりの金額と設置について、予算を伺います。

答 既存の電柱を利用して事業費を抑えた場合でも約93万円となります。

問 子ども達の遊び場や、富谷小学校の送り迎えに利用されている駐車場としんまち公園に、早急に防犯カメラの設置を求めますが見解を求めます。

答 しんまち公園につきましては、クマ対策に加え、しんまち公園周辺の防犯対策にも寄与するものと考え、国の補助金を活用し、防犯カメラの設置を検討します。

問 市内全域に市民の安全安心のため防犯カメラの設置の増設が必要と考えますが見解を求めます。

答 市民の安全安心のため犯罪を一件でも起こさないため防犯カメラの重要につきましては、議員同様に認識しています。

今後に向けては改めて今回いただいたご意見を十分認識した上で、新年度の予算編成に取り組んでいきたいと思います。



問 熱中症対策について
答 周知啓発活動を積極的に取り組む



畠山　由美 議員

近年、熱中症による救急搬送や重症化が深刻な問題となっています。室内でもリスクが高いことから、住宅における暑さ対策を強化することが極めて重要です。

問 エアコンを設置していない高齢者世帯に、購入・設置費用の一部を補助する制度が必要では。

答 熱中症予防にはエアコンの活用が有効な手段であることから、支援のあり方について検討を進めていきます。

問 低所得の高齢者世帯などリスクが高い世帯への支援についての見解は。

答 健康被害防止の観点から重要と考え、対象世帯の範囲や支援内容、財源のあり方等について検討を進めます。

問 クーリングシェルターは、真に必要な方々へ周知徹底と利便性の向上が重要では。

答 各種通知や安心安全メールでさらなる周知強化を図ります。

問 低出生体重児と家族へ支援拡充を
答 丁寧に寄り添い支援していく

低出生体重児は発育や発達の遅延、障害さらには成人期も含めた健康リスクの高さが指摘されており、家族はあらゆるライフステージにおいて不安を抱え、育児上の困難に直面しており、個々の状況に寄り添った継続的な支援が必要です。

問 母親の気持ちが楽になるような、家庭訪問と訪問型サポートのさらなる支援について。

答 丁寧に聞き取り、寄り添いながら支援を継続していきます。

問 病弱・発育不全の子どもの就学猶予について。

答 申請があった場合は、国の考え方に沿って医学・教育の両面から判断し、子どもと保護者の意向を尊重し判断します。



▲宮城県保健福祉部
子育て社会推進課作成

問 子どもホスピス整備の検討を

答 国、県、他自治体等の動向を注視

子どもホスピスとは、生命を脅かす病気や重い障害のある子どもと、その家族が安心して過ごせるように支援する施設・サービスです。本市でも整備が必要と考えます。

問 子どもホスピスの必要性についての認識は。

答 必要性は十分に認識をしています。

問 医療的ケアを必要とする子どもや家族の世帯数や生活実態の把握はしていますか。

答 医療的ケア児がいる世帯数は17世帯です。

問 明石台地区に取得済みの用地から総合病院用地面積を差し引いた残りについて、子どもホスピスを公募しては。

答 利用者のニーズ把握や財源確保など課題が多くあると捉えています。



須藤　義 議員

問 学校の開門時間、本市の見解は

答 責任ある安全管理が困難と懸念

近年、共働き世帯の増加などを背景に、子どもの登校時間よりも早く保護者が出勤しなければならないことで、子どもの朝の居場所がないことが課題となっています。こうした中、全国の自治体では小学校の開門時間を早めたり、始業前の児童の居場所を学校内に設けたりする取り組みが広がっています。

問 学校の開門時間を早める件について本市の見解は。

答 万が一の怪我やトラブル、不審者侵入などの防犯上のリスクに対して責任ある安全管理が困難であると懸念しています。

問 保護者へのニーズ調査を実施し、研究を進めるべきではありませんか。

答 ニーズ調査を実施することは保護者に過度な期待を抱かせることにもなりますので、調査の実施は慎重であるべきと考えます。



▲市内小学校の校門

問 健康寿命と社会参加の推進について

答 支援強化で健康寿命延伸に努めます

退職を一つの節目として、地域との接点や外出の機会を増やし、人とのつながりを楽しむ、地域で担い手としての役割を果たすなど、心身の健康、生きがい、介護予防は健康寿命の延伸につながると考えます。フレイル予防の推進と全市民の健康づくりを促す施策の充実について質問します。

問 地域コミュニティや健康づくりへつながる情報提供、きっかけづくりの視点と、特に55歳から70歳位の男性参加のセミナー開催などの計画については。

答 孤独・孤立を防ぐことも含めて、長く健康に過ごせる環境整備は大変重要と考え、「健康推進計画」に明記しています。

セミナー開催も含め、健康づくり事業の内容を考慮していきたいと考えています。

問 福祉を視野に展開する健康マイレージ事業で、市民全体で健康づくりに共に支え合う取り組みについては。

答 新しい視点だと思います。市民の思いも考慮して、他の団体の事例も参考に検討していきたいと考えます。



浅野　直子 議員



問 高齢者移動支援にタクシー補助は

答 検討を早期に進めます

高齢者の交通支援事業の「とみぱす」は高い評価です。しかし、高齢世帯の孤立も重なり経済的にも負担が大きい通院にかかるタクシー代等の支援について、格差が生じることは避けなければならないと考えます。

問 タクシー等利用の移動支援について。

答 選択肢を広げる有効な手段の一つであるという認識です。タクシー利用券の実現に向けた検討を進めたいと考えています。

問 スポーツ施設の整備推進と充実

答 スポーツによる街づくりを進めます



荒谷　敏 議員

聞き取っていただき今後の対応を考えていただきたいのですが。

答 利用者の声を聞きながらできる支援がないか検討していきます。

問 総合運動公園について新しい利用者ニーズの把握とさらなる機能強化として野球専用グラウンドへの整備については。

答 施設長寿命化計画を踏まえ施設の状況を勘案しながらまずは、維持管理に努めます。

問 学校校庭へナイター設備を整備し、部活動地域展開の支援策としては。

答 地域クラブの方々からニーズを伺い、夜間照明の必要度の検証など研究します。また、市民の皆さまの声を大切にしながら、スポーツによる活力ある街づくりを進めていきます。

スポーツには競技力を高めるだけではなく、人と人をつなぎ、地域に一体感を生み、夢や希望、活力を与える力があると思います。市内の民間屋内運動施設であるＮ１ドームが老朽化などにより閉鎖されると伺いました。総合運動公園については市民のスポーツ活動の拠点としてさらなる機能強化を図り、野球専用グラウンドの整備を含め将来的な可能性を検討すべきと考えます。学校の校庭には夜間照明施設を整備し、夕方以降のクラブ活動や市民団体の活動時間を確保することができ、学校施設を拠点として捉えて施設の利用環境を充実させることが重要と考えます。



問 Ｎ１ドーム閉鎖による市民への影響と認識は。

答 市民活動に影響をおよぼすものと認識していますが慎重に取り扱います。

問 民間施設ではありますが、市民スポーツ活動の拠点であることは間違いなく、支援策や補助制度を検討できませんか。

答 事業者への聞き取りなどを行い、今後協議していきます。

問 利用者の意見を

問「新商品開発」のその後は

答 富谷宿を中心に販売しています



出川　博一 議員

問 とみぷらを拠点とした起業者（平成30年から令和７年の合計で92名）のその後の動向について。

答 富谷塾の第１期から第８期までの起業者は合計92名で、そのうち法人格を有したものが21件です。

今後も塾生一人一人の状況に寄り添いながら、起業に向けた実践的な支援を行っていきたいと考えています。

これまで私は15年間にわたって１期目は３問を目標に一般質問を、近年は概ね２問のテーマを決め、財政関係を中心に質問を続けてきています。

これまでの一般質問や議員としての議決行為の中で、釈然としない事案があります。令和４年度から令和６年度の富谷宿に対する補助金２４３０万円の件について質問します。

問 令和７年度以降の商品開発状況は。

答 令和４年度から３年間において、本市からの補助事業を実施しました。

補助事業として株式会社１０３８（とみやど施設の指定管理者）が地場産品を活用した商品開発を行ってきました。

なお、令和７年度の売上は全国発酵食品サミットでの売上もあり約１０７万円、８年度は７月末現在での売上額が約21万円です。

株式会社１０３８では消費者のニーズや原材料の供給バランスを考慮して発注を行っており、味噌、醤油、甘酒のニーズが高いことから、今後定期的に味噌、醤油の納品が予定されているとの報告を受けています。新商品の開発についてはある程度の先行投資が必要であり、今回もその意味では国の交付金２分の１を活用して、本市としては当該投資分を一定期間かけて回収するという考え方に基づき、株式会社１０３８と連携し新商品の認知度向上とさらなる売上アップに取り組んでき



問 ブックスタート事業の導入は

答 本市独自の取り組みとして実施



長谷川る美 議員

令和8年5月1日に成田一丁目にユートミヤが開館しました。新図書館のなかには子ども図書館も整備され、創造の丘は絵本や児童書に親しみながら創作活動や読み聞かせに親しめる子ども向けのスペースです。児童屋内遊戯施設とみのわパークやスイーツステーションなども備えます。子育て支援の基盤の一つとなる複合施設として、多くの市民に利用されています。こうした絵本に親しむ環境が整備されたことで、乳児期からの絵本との出会いをより多くの家庭に届ける仕組みとしてブックスタートの意義は一層高まっていると考えます。

問 幼児と絵本に親しむ機会作りについて、これまでどのような検討を行ってきましたか。

答 言語発達の促進や親子間の愛着形成、情緒の安定、想像力、共感力の育成など乳幼児の健やかな成長を多面的に支える重要な取り組みであると認識をしており、ハード、ソフトの両面から多角的に検討を重ね、絵本に親しむ環境の整備と機会の確保に努めてきました。

問 ブックスタート事業の導入を進めていく考えと、具体的な課題をお伺いします。

答 ブックスタート事業を参考にしながら、とみこやユートミヤの機能を最大限に生かした独自の取り組みを実施していきたいと考えています。課題は、親子の待ち時間が長くなることや、読み聞かせボランティアの育成や継続的な取り組みとするための、組織作りなどがあります。

問 ブックスタートを通じて、ユートミヤの利用促進につながる相乗効果についてお伺いします。

答 乳児健診において配布する、絵本引き換え券の活用により、ユートミヤへの来館促進にもつなげていきたいと思います。



問 高齢者のごみ出し支援を求める

答 令和9年度当初から新規事業開始



菊池　美穂 議員

ごみ出しが困難になることは、ごみ屋敷化やセルフネグレクト、認知症の早期発見、孤立防止など、多くの福祉課題と密接に関係しています。今後も高齢化は進み、本市でも一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯はさらに増加していくことを想定し、質問します。

問 令和9年度予算に高齢者のごみ出し支援事業を計上する考えは。

答 当初予算に新規事業として計上します。

問 どのような制度設計・手法が本市に適していると考えますか。

答 見守り体制や支え合える機能も含め、ご自宅からごみステーションまでの運搬支援が実情に最も適したものと考えます。



▲宮城交通 鷹乃杜バス停留所

問 南富谷サニータウン線廃止の対応

答 最大限できる限りの対応を努力

宮城交通南富谷サニータウン線が来年度からすべて廃止され、鷹乃杜やとちの木団地内を通る路線はゼロになります。この路線を失う地域としては深刻で切実な問題です。既存の路線バスを地域全体で守るべき社会インフラとして位置づけ、移動手段の確保と利便性の維持、持続可能な公共交通ネットワーク構築の強化は必須と考えます。

問 廃線エリアの代替交通や、予算面も含め、方策の強化が必要です。取り組み充実のご意思は。

答 市民バスダイヤ変更での対応等、また、交通事業者をはじめ、国、県および近隣自治体と広域連携も強化しながら、予算も新たに確保してでも、あらゆる最大限できる限りの対応を努力します。

その他の質問

問 ごみ屋敷対策条例設置の考えは

答 早急に条例制定に向け進める

問 個別避難行動計画の策定状況は

答 個別避難計画を別途作成



渡邊　清美 議員

全国的に人命に関わる災害が続いています。

災害が少ない富谷市ですが、日ごろの備えが重要であり、いざという時には、安全、安心な避難所の運営が必要と考え以下質問します。

問 要介護、要支援者以外の高齢者への避難への対応は。

答 原則、町内会や自主防災組織で対応していくと捉えています。65歳以上の一人暮らし世帯、また、75歳以上の二人暮らしの世帯につきましては、民生委員児童委員の協力をいただき個別訪問した上でその地域の実情を把握しています。

問 町内会との連携は。

答 個別避難計画を策定するに当たり、町内会長、民生委員児童委員また、市の三者で協議体をもっています。対象者の方の体の状況、確認事項等を踏まえ、個別避難計画を策定しています。

平時から情報を共有して町内会との連携を図っています。

問 個別避難計画の名簿活用の問題点は。

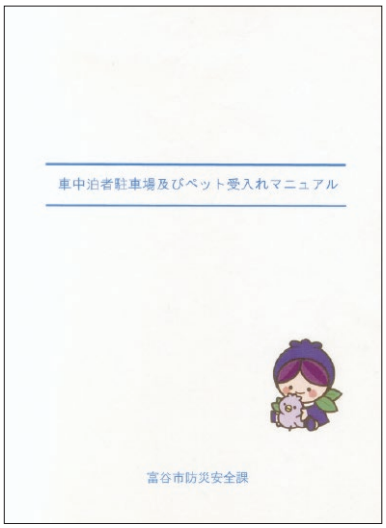
答 目的外利用ができないことが多くあり、活用が限定的であるのが現状です。今後とも行政区長や民生委員児童委員と連携し、より一層の登録勧奨を図り、平常時から要支援者の見守り、災害時の迅速な支援に努めます。

問 避難所の開設期間と、車中泊の考えは同じか。

答 車中泊避難につきましては、統一的な基準はありません。災害救助法に基づく避難所の開設期間を踏まえつつ、状況に応じた段階的な対応を実施します。

問 車中泊避難が長期化した場合の対応は。

答 避難が長期化した場合の対応は、避難所への支援、要配慮者を優先に福祉避難所への受け入れを実施したいと考えます。



問 我が市の子育て・教育について

答 地域、行政、家庭で子どもを支援



伊藤　嘉樹 議員

問 小規模校同士の授業を合同で行い、統廃合を回避し、一つの授業に教員が2名つくなどのメリットがある先進事例を、どのように考えますか。

答 大変参考になる事例と考えます。

問 市民センターへスマートロックを導入したら管理人は必要なくなるのではないですか。

答 検討課題とします。

問 市民センターへ小中学生が放課後に立ち寄って談話や勉強を行うところに主眼を置いての設備整備については。

答 そういった活動を把握して何かできることがないか考えます。

問 これから未来をつくり、社会を支えていく人材である子どもたちへ、市民バス等の料金制の行政サービスの負担を強いることについて、見解を伺います。

答 小中高生の無料化は子育て世帯の負担軽減や利用促進という効果が期待されます。

問 ユートミヤの利用文化の醸成についてセンター長に所感を伺います。

答 一体的な空間でさまざまな世代間の交流を創出させる目的があるので、自由度を大きくする運用に努めています。

問 そうぞうのおかにブルーシートは必要ないと思います。ウッドカーペットのような、一体感のあるものを使って、ここは汚してしまってはだめだという印象をつけないような対応を求めます。

答 議員からの提案、利用者の声も含めて調査しながら進めます。

問 市内の各種イベント等で子どもが近くにいるのに喫煙をする大人の姿を散見していますが。

答 望ましい行動ではないと認識しています。

問 2月のこどもにやさしいまちづくり条例制定時の質疑でも強く訴えましたが、理念条例を理念のままにしない施策の推進を求めます。

答 継続的な周知・情報発信等の取り組みを進めます。



▲地域展開後の部活動

よりよいまちづくりのために 調査しました

（7月実施）

各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

総務常任委員会

市民バスとデマンド型交通の利便性向上について
地域内のフィーダー交通の充実を

調査先：企画部　企画政策課



◎調査日　7月30日

仏所地区は、西友富谷店の閉店や市民バス路線の変更等により移動の不便が生じています。現地確認の上、デマンド型交通の運行区域へ組み入れるよう求めたところ、令和9年度からの実施を目指し進める方針が示されました。対象区域拡大に伴う公平性については、他地区の需要調査を進め検討するとのことです。

今回の調査では実際に地域を歩き、数字や資料だけでは把握しにくい負担を確認することができました。今後の公共交通施策においても、利用者数等の客観的なデータ分析と、実際に利用する市民の声や現地の状況を組み合わせて検証することが重要です。距離だけではなく、道路状況、坂道、地下道の有無、周辺の買い物・医療施設等の立地を含め、実際の生活上の移動負担を考慮した運行区域の設定を求めます。

教育民生常任委員会

ICT教育について
子どもたちの教育へ資する提言へ向けて

調査先：教育委員会



◎調査日　7月24日

教育民生常任委員会では、継続的な調査と政策提言に向けた意見集約を行うため、年間テーマを設定して活動しています。本年度は「ＩＣＴ教育」と「不登校」の２つです。

今回は市内小中学校におけるＩＣＴ教育の現場の視察をもとに行われた、市教育委員会との意見交換から抽出された課題感について協議しました。教育現場におけるデジタル機器のさらなる利活用や、教職員の業務におけるデジタル化である「校務ＤＸ」の拡大について意見が出されました。

市内すべての小中学校で、子どもたちが等しく質の高いＩＣＴ教育を受けられるよう、一段と深化させた環境整備とサポート体制の必要性を痛感しております。年度末の提言に向けて、今後も調査をしっかりと進めてまいります。

産業建設常任委員会

有害鳥獣対策について
安全最優先の体制整備を求む～

調査先：経済産業部　農林振興課



◎調査日　7月27日

市の有害鳥獣対策は一定の成果が認められるものの、イノシシによる農作物被害やクマの出没は依然深刻であり、市民生活の安全確保を最優先としたさらなる取り組みの強化が求められます。

今後は、捕獲体制の強化や担い手確保、ＡＩ・ドローン等の新技術の活用を進めるとともに、県主導による広域連携を強化し、総合的な対策を推進する必要があります。

また、捕獲個体の処理施設整備については、運営体制や財政負担を十分に検証し、持続可能な仕組みを構築することが重要です。

森林環境整備や土地所有者との協力体制の確立も不可欠であり、これらの課題に対し市が主体的かつ計画的に取り組むよう、引き続き強く働きかけてまいります。

議員全員協議会を開催しました

8月10日
(1)議員の倫理規範について
その他
(1)議会だより申合せ事項について

8月25日
(1)提出予定議案に関する案件
①令和８年度富谷市一般会計補正予算(第２号)
②令和８年度富谷市市営墓地特別会計補正予算(第２号)
③令和８年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第２号)
④令和８年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第２号)
⑤令和８年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第１号)
⑥令和８年度富谷市下水道事業会計補正予算(第２号)
⑦和解及び損害賠償額の確定について
⑧教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
⑨人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
(2)提出予定議案以外で説明を要する案件
①富谷市デマンド型交通による墓参機会の確保について
②富谷市総合計画・後期基本計画の成果目標達成状況について
③第２次富谷市地方創生総合戦略の効果・検証について
④結婚新生活支援事業について
その他
(1)決算審査の意見に対する質疑について
(2)人事及び諮問案件の表決について
(3)議会費の決算及び補正予算について

9月7日
(1)政治倫理審査会について

9月15日
(1)提出予定議案に関する案件
①令和８年度富谷市一般会計補正予算(第３号)
(2)提出予定議案以外で説明を要する案件
①新病院整備に関する進捗状況について
②ＧＸ戦略地域の認定について

人事

教育委員会委員の任命および人権擁護委員の候補者の推薦について、市長から同意を求められ、全会一致で同意しました。

教育委員会委員に

宮崎　宏枝さん(明石台)

人権擁護委員の候補者

平間　由美子さん(とちの木)
関口　智子さん(日吉台)
高世　美枝子さん(成田)
本郷　真理さん(東向陽台)

熊本地震へのお見舞い

令和8年7月28日に発生した熊本地震の被災地へ、九州市議会議長会を通し、富谷市議会から義援金を贈りました。
被災地の皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

請願と陳情の提出方法

市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書
請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。
また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。

●陳情書
陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配付されます。

請願書・陳情書について、詳しくは富谷市議会ＨＰをご覧ください。

行政視察を受け入れました

視察日	議会名	視察の目的
5月12日(火)	宮城県議会 地域交通対策調査特別委員会	基幹公共交通整備の取組について
5月25日(月)	福岡県春日市議会 会派合同	不登校特例校富谷市立富谷中学校西成田教室について
6月18日(木)	宮城県議会 公明党県議団	不登校特例校富谷市立富谷中学校西成田教室について
6月29日(月)	静岡県清水町議会 総務建設委員会	富谷市の地域公共交通(富谷市民バス・とみぱす)について
7月 9日(木)	宮城県登米市議会 教育民生常任委員会	・「富谷市複合図書館　ユートミヤ」について ・不登校特例校富谷市立富谷中学校西成田教室について
7月13日(月)	島根県雲南市議会 産業建設常任委員会	「住みたくなるまち日本一」について(旧公共施設を再生した産業交流拠点の造成等)
8月 5日(水)	北海道根室市議会 会派合同	不登校特例校富谷市立富谷中学校西成田教室について
10月 5日(月)	宮城県名取市議会	「富谷市複合図書館　ユートミヤ」について
10月16日(金)	千葉県富里市議会 文教厚生常任委員	「富谷市複合図書館　ユートミヤ」について



未来へはばたけ とみやっ子



日吉台小学校

～受け継がれる歴史と未来への一歩～

1995年創立の日吉台小学校で、10月1日に開校記念朝会が行われました。

朝会では、計画委員から児童会スローガンが力強く発表され、自分たちでつくる日吉台小の未来を思い描きました。また、本校の作詞者である氏家尚子先生を特別にお招きしました。児童からの質問に温かく答えていただいた後は、氏家先生の指揮で全校児童が校歌を合唱し、深く心に残る貴重なひとときとなりました。



当日は校長室も開放。普段は入る機会のない校長室で、児童たちはうれしそうにソファや校長先生の椅子に座り、特別な時間を満喫しました。さらに歴代の卒業アルバムを見る時間も設けられ、昔の校舎や学校の様子に驚きながら、自分たちの通う母校の歴史と歩みを身近に感じる充実した一日となりました。



＜表紙紹介＞
熊野神社

元和4年（1618年）伊達政宗の命による富谷宿の開設に伴い現在地に移築され、宿場全体の総社として大切にされてきました。

境内には、鐘楼、多数の石仏、石灯群があり、神仏習合の名残をとどめています。

毎年10月第1日曜日には例祭が斎行されます。

編集後記

富谷市は今年10月に市制施行10周年という大きな節目を迎えました。これまでの歩みを振り返るとともに、これからの富谷市の未来を考える大切な年です。

また、「GX戦略地域（データセンター集積型）」に認定され、新たな産業の創出に向けた一歩が始まります。

これからも市政の動きや議会での議論を分かりやすくお伝えし、市民の皆様の声を大切にしながら、より良い富谷の未来に向けて取り組んでまいります。

広報委員　畠山　由美

みんなの広場

待望の街かどカフェ「ひまわり」オープン

代表・那須正行さん

日吉台三丁目会館に挽きたてのコーヒーの香り漂う「街かどカフェ」が町内会や市・社会福祉協議会の支援のもと、オープンしました。ご近所同士、近隣地域の方々の憩いの場です。一杯のコーヒーですが、老若男女誰でも立ち寄って親睦を深め、住民相互が支え合う地域づくりの推進を目的としています。

今年７月３日グランドオープンしたばかりで手探り状態での運営です。自主的に協力してくれる10名のスタッフが美味しいコーヒーを提供できるよう奮闘中です。ひまわりの名のごとく、元気に笑顔でお迎えしております。

平成30年に高齢者同士で、「つながりの会」を設立し、お茶会を行いましたが長続きしませんでした。でも、皆で集まり楽しい時間を共有する場が欲しいという想いは残り、カフェオープンにつながりました。

一人でよし、友達同士でも、グループの会合など目的は違っても、ほっこりゆったり楽しい時間を提供できたらと思います。

